

事業の基礎情報

実施主体	京都京阪バス株式会社
事業実施地域	宇治市
共創の類型	官民共創・交通事業者間共創・他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉・こども・子育て・教育・スポーツ・文化・商業・農業・宅配・物流 エネルギー・環境・地域・移住・金融・保険・観光・まちづくり・その他（ ）
共創パートナー	京都京阪バス株式会社、宇治商工会議所、宇治市観光協会、宇治市
運行形態	路線バス
運行主体	京都京阪バス株式会社

取組の概要

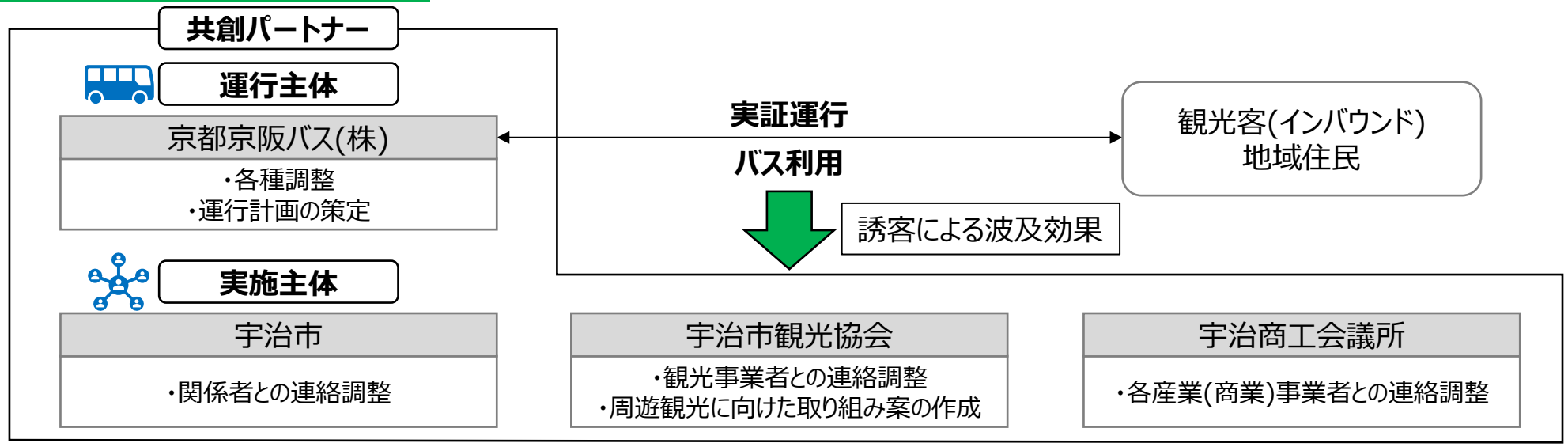
（現状の地域課題と事業目的）

令和6年度に小倉地域において「ニンテンドーミュージアム」の開館が予定されており、新たな観光拠点と宇治市の観光における中枢拠点(平等院など)との周遊性向上と併せ、過去の路線バス廃止により地域の課題となっていた当該地域間の移動手段確保を行うため、路線バスによる実証運行を実施する。運行に関し、今後の持続的な運行のため、行政・交通事業者・関係事業者の連携・協働による利用促進事業の検討・実施を行う。

（事業の概要）

小倉地域と宇治中枢拠点を循環する交通事業者による路線バスを実証運行の形で実施。利用促進事業として、源氏物語を軸とした既存観光コンテンツの活用や、バス乗車を目的としたスマホを利用した事業の実施、観光施設・地域商店等と連携した新設バス切符等、一過性に終わらない持続可能な運行に向け、行政・観光協会・商工会議所や関係事業者が一体となり、観光客・地域住民に対する情報発信・イベント等の利用促進を検討・実施する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

バス利用促進施策として、新設バス切符、体験型ゲームイベントの実施にあたり、商工会議所及び観光協会を通じ、地元事業者に対し協力を依頼し、利用促進に向けた事業PRを実施。

(実証事業により見込まれる効果)

宇治小倉間が路線バスでつながることにより、周遊観光が一層促進され観光客の滞在時間の延長が期待でき、併せて公共交通による来訪を促すことによる、観光地周辺の交通渋滞の緩和についても期待できる。また、地域住民のおでかけ環境が改善され、公共交通による地域間交流が活発となり、まちの賑わい創出や住民の健康増進等に繋がることが期待できる。さらに、既存観光コンテンツの活用、バス乗車を目的とした新たな取り組み、地域を超えた関係者による協働の仕組みにより、今後のバス利用促進や観光周遊等の新たな手法の検討・実施や、地域間連携による新たな事業に向けた基礎をつくることとなる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

- R6.4 バス実証運行、利用促進事業打ち合わせ(協議会)
- R6.7.21 バス実証運行開始(京都京阪バス(株))
利用促進事業を開始(市、観光協会、会議所)
- R6.10.2 ニンテンドーミュージアム開館
バス実証運行増便(4便→8便)
新設バス切符ぐるっと宇治得きっぷ”販売開始
- R6.12 R7年度以降の本格運行に向けた検討(協議会)
- R7.2 実証運行終了
利用促進事業についても引き続き実施予定

(補助事業実施後の予定)

共創モデル実証運行事業補助終了後も共創協議会の仕組みは継続させ、実証運行時に実施する利用促進事業(新設バス切符等)については、事業実施後の継続、内容の拡充について検討を図る。(バスに乗車し目的地に移動する公共交通としての事業と、利用者がお得に周遊できる観光としての事業と今回の事業目的は異なるが、内容の更新等により継続的なバス利用が見込まれる様な事業内容としている。)また、当事業により新たに各エリア間の交流が進むことで、更なる取り組みの実施に向けて、引き続き協議会の中で検討を進め、地域住民・観光来訪者の利用により持続的な運行を目指す。